

令和3年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

1年

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語	<p>○知識・技能においては、到達度が概ね90%を超えている。思考・判断・表現に関しては、全体では90%の到達度ではあるが、個人差がある。読み取りに関しては、50%位の児童もいる。</p>	<p>○読書や読み聞かせを通して、いろいろなお話に触れる機会をつくり、内容が把握できているか確認できる場を設定する。</p> <p>○「音読カード」を使い、家庭とも連携し、日常的に音読練習に取り組むことで、言葉のまとまりを意識して読めるようにする。</p>	<p>○年間を通して教科書の挿絵の並び替えクイズや間違い探し読み等を取り入れることで児童が積極的に話の内容を知ることができた。</p> <p>○日々の音読カードの練習によりことばのまとまりを意識しながら読めるようになった。</p>
算数	<p>○どの単元においても最低到達度は70%と、算数の学力としての達成度は全体的に高い。反面、問題をよく読まないで誤答したり、何を書けばいいか分からなかったりという児童がいる。</p>	<p>○足し算と引き算を混ぜた問題、文を読んで解答する問題、自分で問題文を作る問題など、単純な計算の反復練習だけではなく、思考する習慣を日頃の学習から身に付けられるよう授業内容を精査していく。</p> <p>○ノート指導を重視し、書く活動により算数を構造的に理解できるように促していく。</p>	<p>○自分で問題文を作る活動等を取り入れたことにより、問題をしっかりと読んでから解く児童が増えた。</p> <p>○よく書けている児童のノートを全体で紹介し、手本を示すことで児童全体の書く意欲を高めることができた。</p>
生活科	<p>○植物や生物の観察には、意欲的に取り組む児童が多く見られた。しかし、観察したことを的確に絵や文章</p>	<p>○観察する際に、絵や文章で表現するための観点を示す。気付きなどを共有、可視化し、例を示すようにする。</p>	<p>○絵や文章で具体的に表現できている児童を全体で紹介し、例を示すことで少しずつ意欲的に取り組むことが</p>

	で表現する力がまだ十分ではない児童がいる。		できるようになった。
図工	○絵画、造形共に興味・関心をもって活動に取り組むが、発想の広がりや、技能面での個人差が大きい。	○題材について考えを出し合ったり、見本を提示したりして、課題に対する見通しをもたせる。 ○必要な技能については、全体で練習をしてから取り組ませる。 ○活動中に良い発想や工夫、取り入れられる技能を紹介し、発想の幅をもたせるようにする。	○題材では自分の経験や考えを共有することにより、課題に対する見通しを全体で共有することができた。 ○技能に関しては必ず練習をすることにより、全員が安心して取り組むことができた。 ○良い発想や工夫を全体で共有することにより、新しい発想に気が付ける児童が多くなった。
体育	○体を動かすことが好きで体育の授業に意欲的に取り組める児童が多い。反面、リズムに合わせて体を動かすことや、まっすぐに走るということに課題が見られるため、運動経験を重ねる必要がある。	○毎時間の授業で「タン・タン・ハイ」のリズムに合わせて体を動かし、繰り返し同じことを行うことで音を聞きながら体を動かす一定の力を身に付ける。 ○様々な走り方で決められたコースを繰り返し走る運動遊びをする。また前を見て走ることを意識する指導を行うことで、まっすぐに走る経験をさせる。	○年間を通してリズムに合わせて体を動かすことを通し、一定の力を身に付けることができた。 ○児童に意識させたい部分を繰り返し伝えることにより、まっすぐに走ることができる児童が増えた。